

# 炬火台・炬火トーチ・炬火受皿のデザイン画採用作品

[あおもりデザイン協会提案]

	デザイン	デザインコンセプト
炬火台		<p>三内丸山遺跡の復元した大型掘立柱建物をモチーフに6本の柱が拡がり「全方位に輝きを放つ」イメージでデザインしています。</p> <p>主役である「炎」を最大限引き立てるために、台座のカラーは白色にしています。形状もシンプルな六角形を3段積み上げた形で、そのままどこからでも登れる利便性を持たせています。設置場所のスペースに合わせて段数と高さを調整します。</p>
炬火トーチ		<p>青の煌めきあおもり国スポ・障スポを視覚的に表現するために、青いガラスのような素材を使用し暖かい炎の光が煌めきながら透けて見えるようにするという今までにないような斬新なものとしします。</p> <p>炬火トーチ中央部には青森県を代表する工芸品などのピースを配置し、全国から訪れる参加者や、メディアを通して視聴する人たちへ本県の魅力を発信できるものとし、また、オール青森で取り組んでいるという意識を創出できるようにします。</p> <p>※実際に入れ込む柄については協議の上決定</p>
炬火受皿		<p>青の煌めきあおもり国スポ・障スポを視覚的に表現するために、炬火受皿上部は青いガラスのような素材を使用し暖かい炎の光が煌めきながら透けて見えるようにするという今までにないような斬新なものとしします。</p> <p>炬火受皿土台部分は縄文土器の模様をあしらひ、北東北の縄文遺跡群という世界遺産の地で開催される本県の歴史や文化に興味を持ってもらえるようにします。</p>